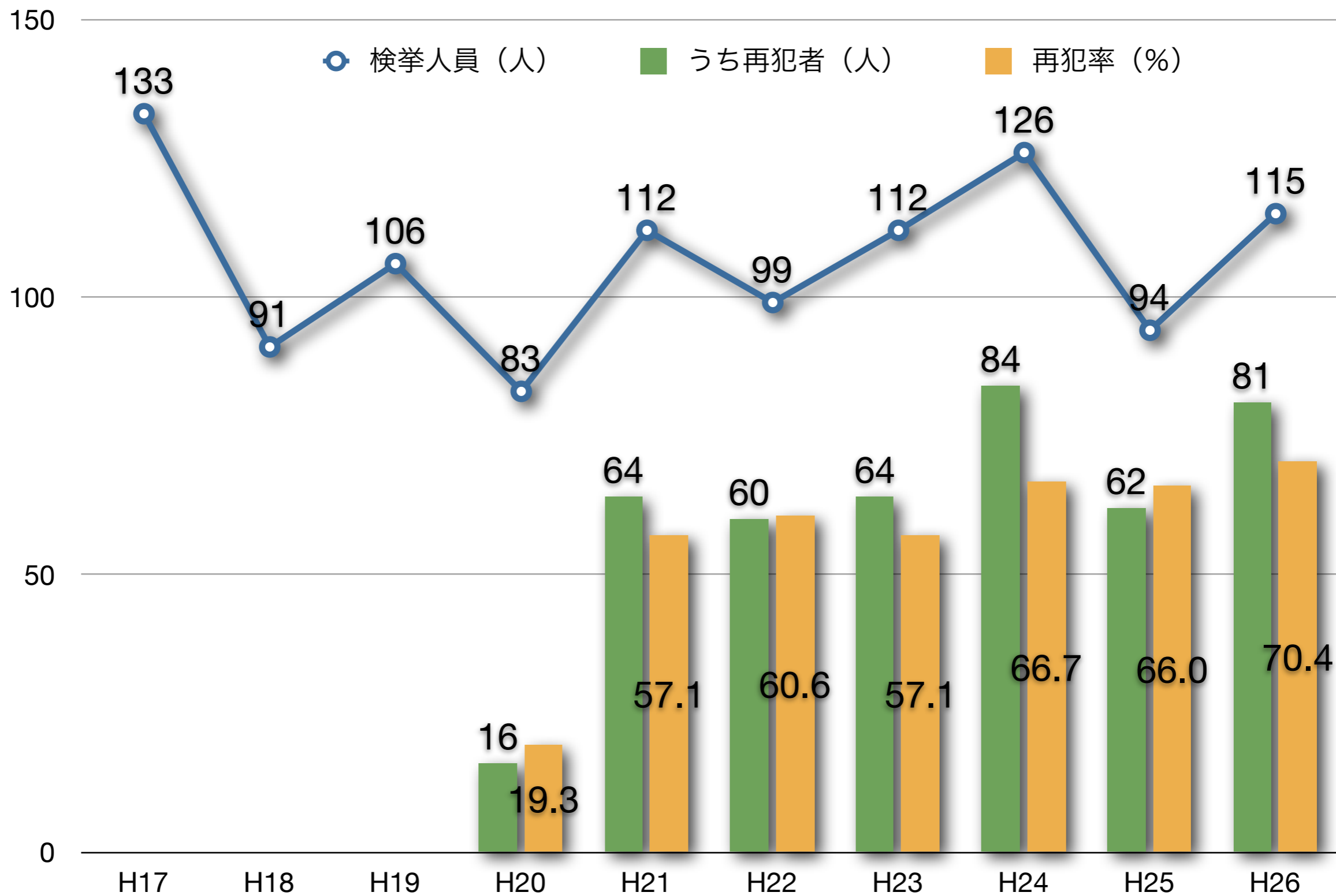


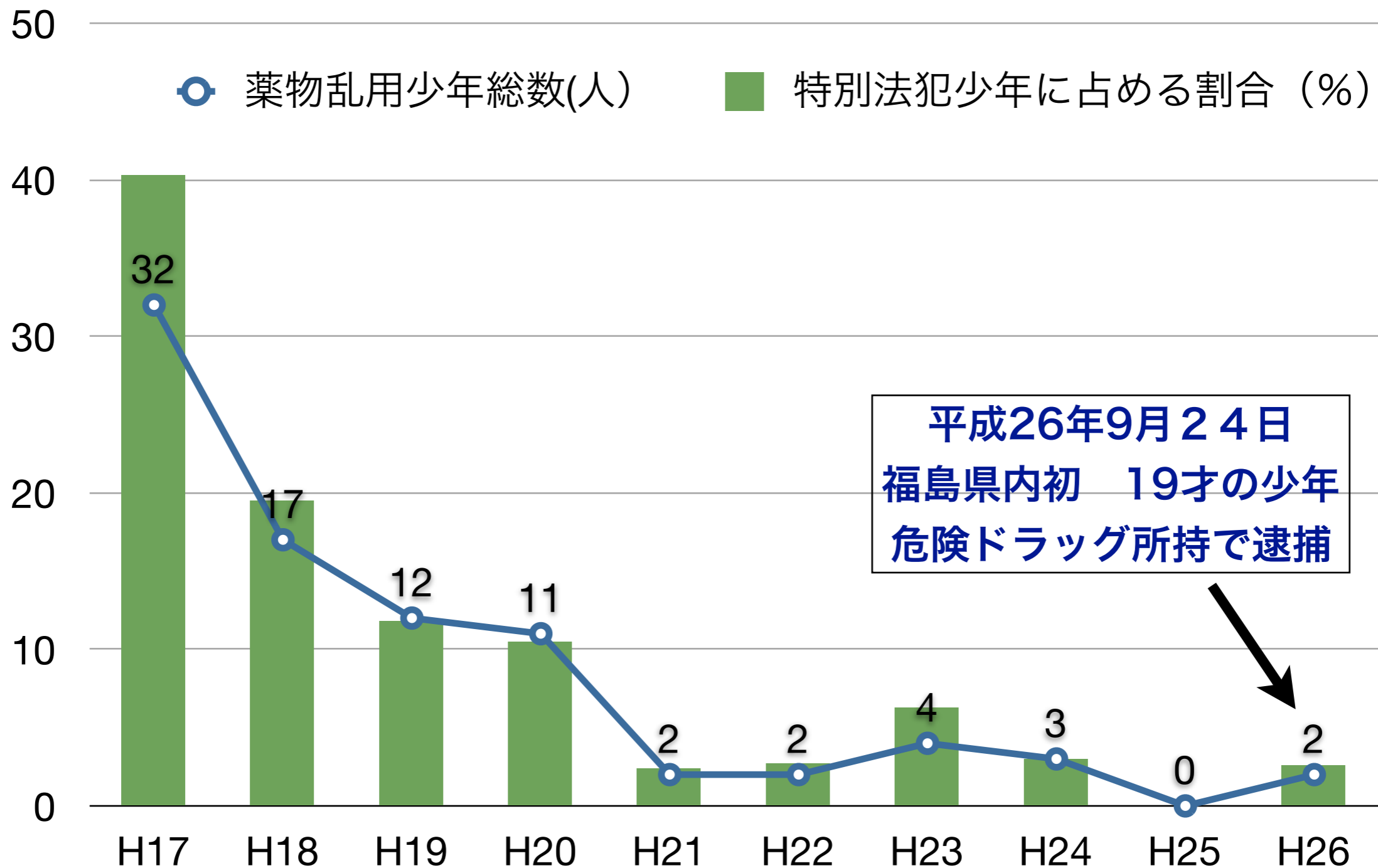
# 福島県における危険ドラッグ 撲滅に向けた新しい啓発活動の 実施について

福島県保健福祉部薬務課

# 当県における覚せい剤検挙者数（再犯者）の推移



# 当県における薬物乱用少年の推移



平成26年9月24日  
福島県内初 19才の少年  
危険ドラッグ所持で逮捕

※ 薬物乱用少年： 薬物（シンナー、トルエン、覚せい剤等）を乱用して  
検挙・補導された少年をいう（14歳以上20歳未満）。

# 当県における危険ドラッグ対策について

## -社会背景-



JR池袋駅  
危険ドラッグ乱用による  
交通事故発生市民7人死傷

H26.6

2012年以降、危険ドラッグ  
で少なくとも41名が死亡  
(衆議院厚生労働委員会)

国内約40万人が危険  
ドラッグ使用経験者  
(厚労省研究班)

危険ドラッグで救急搬送  
4,469件 (福島県13件)  
(消防庁)

福島県内の19才少  
年が危険ドラッグ所  
持で逮捕 (県内初)

H26.9

「ハートショット」  
9月中旬から2週間  
で少なくとも  
9人死亡



H26.10

店舗や  
インターネットから  
デリバリーなど  
販売の地下化へ。  
依然、若者等への  
薬物汚染が懸念

## -国の対応-

H26.7

合法ドラッグや脱法ドラッグ  
を「危険ドラッグ」へ統一  
(警察庁・厚生労働省)

H26.8~

危険ドラッグ販売店への取締強化  
東京・大阪・愛知・福岡店舗へ  
48店舗へ検査命令・販売禁止命令  
(厚生労働大臣命令)

H26.12.17

医薬品医療機器等法 (旧薬事法)  
の一部改正  
検査命令・販売等停止命令の対象  
拡大など

H26.12末

危険ドラッグ店舗数が減少  
215店舗 (H26.3末) → 5店舗  
(厚生労働省)

## -県の対応-

H26.7.9

福島県薬物乱用対策推進本部会議

危険ドラッグ  
販売店等に対  
する監視・取  
締等の強化

H26.7~9

郡山市内の危険ドラッグ  
販売店舗 2店への取締・捜査  
(東北厚生局麻薬取締部、  
県警本部、県薬務課)

危険ドラッグ  
等乱用防止に  
向けた啓発等  
の強化

H26.7~9

福島県薬剤師会主催  
危険ドラッグ講習会  
県内4地区で開催など

H26.10~

当該2店舗の  
従業員らを  
薬事法違反  
被疑事実で逮捕

危険ドラッグ  
販売店舗廃業  
「0件」へ

H26.10~11

(社) 福島県宅地建物取引業協会会長及び  
(社) 全日本不動産協会福島県本部長に対し、  
賃貸借契約した店舗で「危険ドラッグ」の  
販売ができないこと等を、あらかじめ賃貸借契  
約書に規定整備・導入するよう協力要請。  
(県刑事部長名と県保健福祉部長連名で依頼)

H26.12

(社) 福島県トラック協会会長に対し、  
運送する物が危険ドラッグであるを知ったとき  
は、当該物の運送の契約を解除する等につい  
て、協力要請。  
(県刑事部長名と県保健福祉部長連名で依頼)

H26.11.12

麻薬・覚せい剤乱用防止運動福島大会  
(福島県文化センター大ホール)

高校性ボランティアによる高校生ら若者に対し「危険ドラ  
ッグ撲滅」を訴えた。(全国の新しいモデル) 来場者1524名

H27.1.20

県警察  
危険ドラッグ  
総合対策本部の  
設置

危険ドラッグ  
総合対策委員会  
の開催

H27.2.6

福島県危険ドラッグ  
撲滅宣言

福島県では、  
危険ドラッグを  
販売させない、  
使用させない  
「危険ドラッグ撲滅」  
を宣言。  
県警察本部・  
県保健福祉部・  
東北厚生局麻薬取締部

# 危険ドラッグ等乱用防止啓発について

## \* 啓発活動メンバー

薬物乱用防止指導員（575名 平成27年9月15日現在）

保健所職員、警察職員、教育庁関係

## \* 啓発活動内容

①薬物乱用防止教室（小・中・高校等）

→県内257校 受講者30,802名（平成26年度実績）

②「ダメ。ゼッタイ。」福島普及運動

→各地で街頭キャンペーンを展開！

③（新）高校生による高校生ら若者のための啓発活動

→麻薬・覚せい剤乱用防止運動福島大会

とき：平成26年11月12日 場所：福島県文化センター大ホール

参加者数：1,524名

# 高校生のアイディアによる 高校生ら若者のための危険ドラッグ撲滅啓発

啓発活動  
企画・運営

危険ドラッグ撲滅  
啓発活動リーダー  
養成研修

高校生  
ボランティア  
募集・決定



ふくしまからはじめよう。  
**STOP! 危険ドラッグ**  
Future From Fukushima.

**麻薬・覚せい剤乱用防止運動  
福島大会**

**日時** 平成26年  
11月12日(水)  
13:30~16:00

**会場** 福島県文化センター  
大ホール  
〒960-8116  
福島県福島市春日町5-54  
TEL.024-534-9191

**内容** 劇作「死神さんも想定外なの？  
-ダメよ~!ダメダメ!-」  
福島県立光南高校 演劇部

特別講演「薬物(危険ドラッグ)の恐ろしさ」  
独立行政法人国立病院機構久松浜医療センター  
精神科 医師 佐久間 寛之 先生

参加を希望する方は、福島県保健福祉課へ電話にてお申し込みください。  
申込書に添した時点で、お申し込みを締め切らせていただきます。  
(申込先) 福島県保健福祉課 電話 TEL.024-521-7233



**麻薬・覚せい剤  
乱用防止運動福島大会  
H26.11.12**

# 啓発活動リーダー養成研修

夏休み期間において、高校生ボランティアを対象として、自ら考えて行動できる危険ドラッグ撲滅啓発リーダーを養成する研修会を開催した。

- 麻薬取締官・精神科医師・家族会の講話
- 薬物事犯裁判傍聴（東京・仙台・福島など）



# 啓発活動企画運営会議

夏休み期間において、高校生ボランティア自らが、高校生ら若者に対し、どのような啓発活動を実施すべきか企画する会議を開催した。

- 麻薬・覚せい剤乱用防止運動福島大会の企画・運営
- 啓発資材の企画検討・作成

